

なんびょう 難病について

あなたに知ってほしいこと

なんびょう 難病とは

発病の原因が明らかでなく、かつ、治療方法が確立していない希少な疾病であって、この疾病にかかることにより長期にわたる療養が必要となるものをいいます。

難病と一言でいっても、病名や症状は多種多様です。寝たきりの人もいれば、薬で症状を抑え、働いている人もたくさんいます。

そのため、現在は、「病気をもちながら働く（働き続ける）」ことが大きな課題になっています。

外見からは分かりにくい症状もあるため、周囲の理解が得られず、苦しい思いをしている人がたくさんあります。

「難病」という言葉のイメージから先入観をもつことなく、一人ひとりのありのままの姿を理解することが大切です。

詳しくは

しまね けんけんこうふくし ぶ けんこうすいしん か
島根県健康福祉部健康推進課

〒690-8501 松江市殿町1番地 電話：0852-22-5267 ファックス：0852-22-6328

こうえきざいだんほうじん しまね なんびょうそうだん し えん
公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根 しまね難病相談支援センター

〒693-0021 出雲市塩冶町 223-7 電話：0853-24-8510